

第6部 きのこの部

(2) えのきたけ 《 審査日:令和6年10月11日 》

①審査所見

今回の出品点数は令和5年より9点少ない104点でしたが、純白系のみならず茶系品種も出品されました。本選では予選を勝ち抜いた45点について審査しました。高品質のえのきたけが数多く出品されましたことに敬意を表します。

審査は、傘及び柄の形状や揃い、色、側枝の伸び、株の硬さやボリューム感、日持ち性、市場性等を評価し、総合的に優れているものを入賞に選定しました。特に、消費者の安全・安心に対する意識の高まりもあり、異物混入や病害に関しては厳しく審査を行いました。

ボリューム感や品質に優れるきのこが数多く出品され、栽培技術の高さを物語るものでしたが、一部に傘の着色、傘の大きすぎるもの、柄の伸びの不揃いなどがあり惜しくも入賞を逃したものがありました。今後とも、高品質で安全・安心なきのこ生産に努めていただきますようお願いいたします。

②入賞者名簿

えのきたけ

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	株式会社ファースト	中野市
林野庁長官賞	石田 浩一	飯山市
長野県知事賞	掛野 早苗	長和町
信州きのこ祭り推進協議会長賞	松島 伸行	飯田市
長野県農業協同組合中央会長賞	有限会社信州うえだファーム よだくぼきのこ園	長和町
全国農業協同組合連合会長長野県本部長賞	有限会社マルヨ	中野市
(一社)長野県原種センター理事長賞	山口 照代	中野市
(一社)長野県農村工業研究所理事長賞	坂口 建一	山ノ内町